



港区立高松中学校 学校だより<第1号>

令和3年4月12日 校長 鋸持 利行

創立1949年(昭和24年)

<高松中生のあたりまえ> 推進校

港区高輪1-16-25

新年度の始まりにあたって

校長 鋸持 利行

暖かい春の陽射しのもと、爛漫の花に彩られて、いよいよ新年度が始まりました。87名の新生を迎え、令和3年度は、全校生徒数292名でのスタートとなりました。新生の保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。2・3年生の保護者の皆様、今年度もよろしくお願いいたします。

入学式では、次のような話をさせていただきました。私は、この高松中学校が、「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」にしたいと、努力を続けていきます。そのためには、皆さん一人ひとりが「思いやりの心」を持つことが必要なことです。思いやりのあるやさしい人とは、相手の立場になってみることから始まります。これからの中学校生活を通して、人々とのかかわりの大切さに気付いてもらいたいと願っています。人を尊敬する気持ち。大切にすること。仲良くしようとする気持ちが、なければ、本当の自立はありません。人は誰しも希望や喜び、そして悩みをもって生活しています。いつも自分のことだけを考えるのではなく、他の人のことを考え行動できたらどんなに素晴らしいでしょう。そして、友だちが困っていたり悩んでいたなら、声をかけ相談に乗ってほしいのです。友だちをつくり、互いに学び合い、助け合っていくところに真の友情が生まれます。中学校は、集団生活を通して守らなければならない約束ごとや、いろいろな考えがあること。人との接し方や、協力し合う知恵。責任の果たし方など、将来にわたって生活していく上で、大切なことを学ぶところです。この高松中学校で多くの体験をしてみてください。知識として知っていても、実際に経験・体験がないと、知識が知恵として働きません。中学校の勉強は自分から学ぶ。人と交わって学ぶ。さらに、体験して学ぶ。ことが大切なのです。

新生に限らず、学校はいろいろなことに挑戦し、失敗や努力をくり返しなが、成長していくところであると思います。我々大人は、小さな成果や成長であっても評価し褒めることや、たとえ失敗しても努力を認め励ますことなど、時宜を逸さないことが大切です。生徒がそれをバネに諦めずに、あるいは新たに意欲をもって頑張れるよう、ご家庭でも見守り支えていただければと思います。生徒のことで、気にかかることなどがありましたら、どうぞ遠慮なく担任や学年の教員、または校長・副校長までご相談ください。今年度も保護者・地域の皆様には一層のご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。

感染予防対策の徹底について

登校前に 検温・体調の確認をお願いします。

「感染症基本行動3か条」

- ✓ 「3つの密」を徹底的に回避する。
- ✓ 正しいタイミングと正しい方法で手洗い・消毒をする。
- ✓ 咳エチケットを徹底する。

「各自に必要な持ち物」

- ✓ 清潔なハンカチ・ティッシュ
- ✓ マスク
- ✓ マスクを置いたり、持ち運んだりするための布又はビニール袋

